

依存症

この頃の流行語に「依存症」というのがある

一番身近なものが「アルコール依存症」で

かみさんは人の顔さえ見れば烙印を押す

多分間違ってはいないだろう

でも誰もが何かに頼って生きているのじゃないか

怠け者は働き者に頼っているし

弱いものは頑丈な者についつい頼ってしまふ

素直になれず「我」に頼っている気になつてる奴

自分の主義信条を文句なしに錦の御旗にしている奴

愛しているという錯覚に心を支えられている奴もいれば

愛されているという錯覚に毎日を繋いでいる奴もいる

「健康」こそが唯一の支えと信じて

健康食にもジョギングにも睡眠時間にも血道をあげてい
る奴もいるし

それを飯の種にして家が建つタレントもいる

毎週自分の思考力を秤にかけたくて

競馬予想に余念の無い奴もいる

最悪の場合だが

正義のためとか「ヒューマニズム」とかの「依存症」になる奴

これは大いに人迷惑だ

存在のために依存する対象

それが無いと生きられないからこそ

それにしがみ付いて生きて行こうとするのが「依存症」だ

宗教でも生活信条でも麻薬でもアルコールでも

その人が生きるために頼れるものであるとするなら

皆好んで様々な依存症になっているのだ

死の不安から逃れるためだけでもなさそうだ

つまりヒト属ヒトは

依存を趣味にして八十何年かを生き延びる

次世代などどうせ不幸なのだから

セックスには依存しても生殖などは忘れてしまって

せつせと生き続ければいい

そうだ皆さん

個性に合った依存対象を設定して

精々懸命に生きようではないか

(2006.6.3)